

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料 (2021年8月6日)

WDBココ株式会社 (証券コード 7079)











ディスクレイマー

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- また、本資料発表以降、新しい情報や将来の 出来事等があった場合において、当社は本 資料に含まれる将来に関するいかなる情報 についても、更新又は改訂を行う義務を負う ものではありません。

WDBココ株式会社 経営企画グループ



www.wdbcoco.com/ir/



<u>ir-info@wdbcoco.co.jp</u>

会社概要(2021年3月末現在)

社 名	WDBココ株式会社			
設 立 年 月	1984年8月			
資 本 金	2億6969万円			
上場市場	東京証券取引所 マザーズ市場			
代 表 者	代表取締役社長 谷口 晴彦			
本社所在地	東京都中央区晴海1-8-11 トリトンスクエアY 27F			
事 業 内 容	安全性情報管理を主軸とした医薬品・医療機器の開発支援			
従 業 員 数	392名(内平均臨時雇用者数50名)			
拠点	本社、関西オフィス、オペレーションセンター(東京、神戸、沖縄)			
売 上 高	2,570 百万円 (2021/3期)			
経 常 利 益	527 百万円 (2021/3期)			

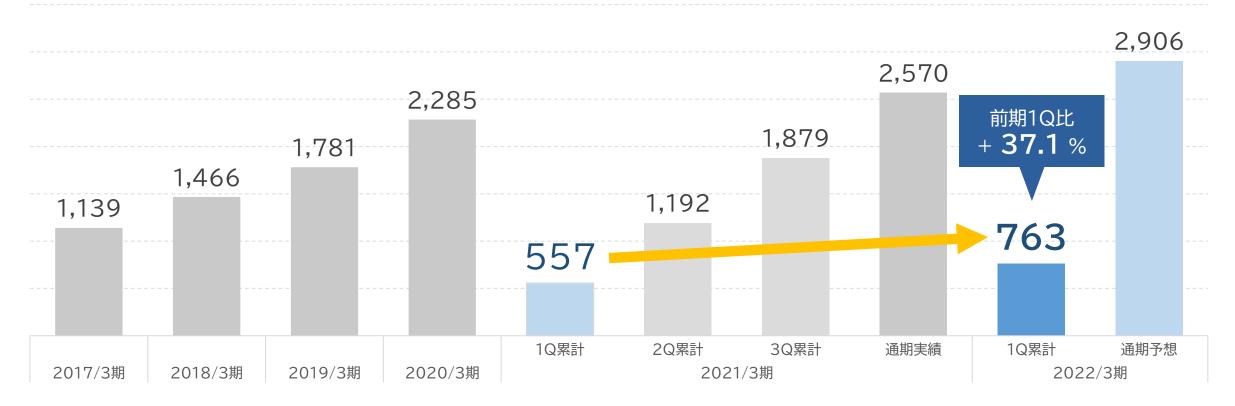


決算の総括

2022年3月期1Q 売上高

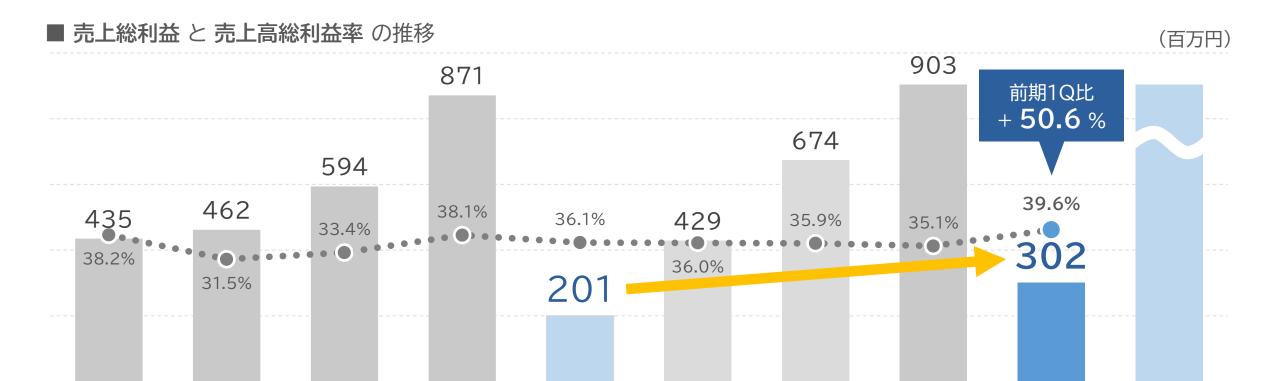
■ 売上高 の推移

(百万円)



- 売上高は763百万円(前年同期比37.1%増)、206百万円の増加となりました。
- 前年2Q以降の複数の新規案件、既存取引先からの追加案件の稼働が売上に寄与するとともに、 仕掛品が売上計上されたことによるものです。
- 前年1Qにおいて生じた新型コロナウイルス感染症の影響は、おおむね解消しています。

2022年3月期1Q 売上総利益



20累計

3Q累計

2021/3期

通期実績

1Q累計

2022/3期

通期予想

売上総利益は302百万円(前年同期比50.6%増)、101百万円の増加となりました。

2020/3期

1Q累計

- 売上高206百万円の増加に対して、売上原価が104百万円増加しました。
 主に、受託案件の稼働開始に伴い人員を増員したことによるものです (106百万円増加)。
- ※ 2021/3期の売上総利益、売上高総利益率は通期予想を開示しておりません

2019/3期

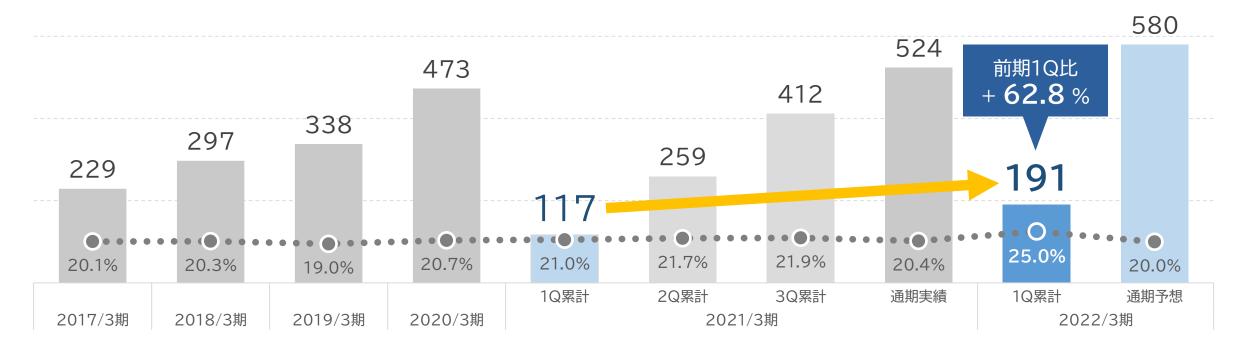
2017/3期

2018/3期

2022年3月期1Q 営業利益

■ 営業利益 と 売上高営業利益率 の推移

(百万円)

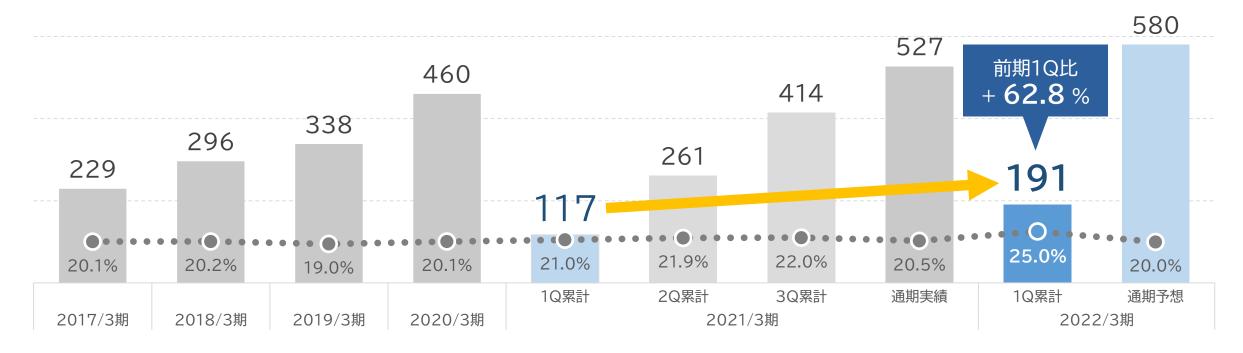


- 営業利益は191百万円(前年同期比62.8%増)、73百万円の増加となりました。
- 売上総利益は101百万円増加し、販売費及び一般管理費が27百万円増加しました。
 主に営業・管理部門の人員を増員(14百万円増加)、
 システム開発部門を増強(11百万円増加)したことによるものです。

2022年3月期1Q 経常利益

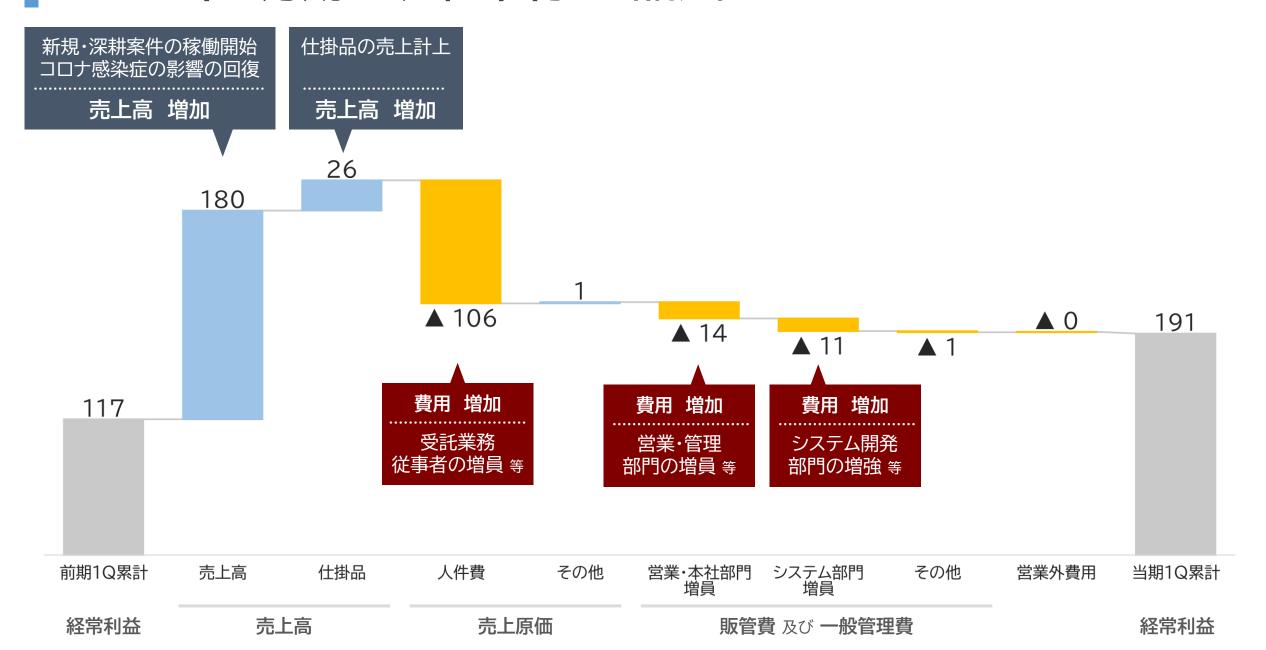
■ 経常利益 と 売上高経常利益率 の推移

(百万円)



• 経常利益は191百万円(前年同期比62.8%増)、73百万の増加となりました。

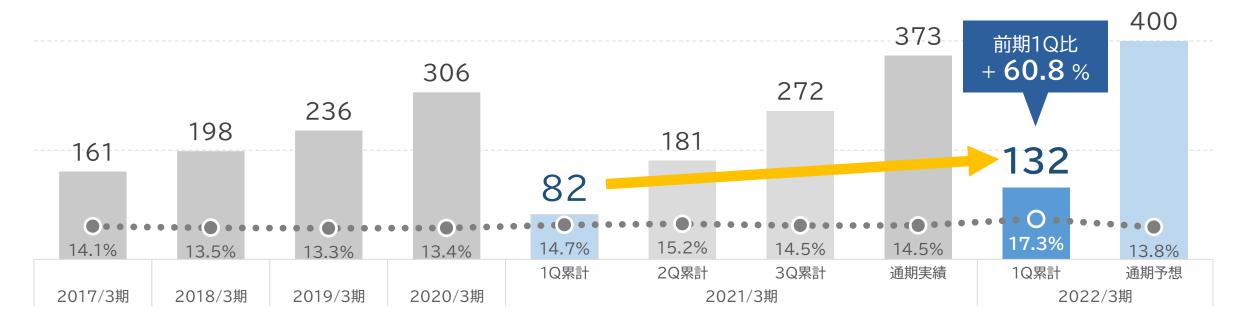
2022年3月期1Q 経常利益(補足)



2022年3月期1Q 四半期純利益

■ 四半期純利益 と 売上高四半期純利益率 の推移

(百万円)



・ 当期純利益は132百万円(前年同期比60.8%増)、50百万円の増加となりました

2022年3月期 通期見通し

(百万円)

	2022年3月期 予想				
	金額	構成比	対前年 増減	1Q時点 進捗率	
売上高	2,906	100.0 %	+13.0 %	26.3 %	
営業利益	580	20.0 %	+10.5 %	33.1 %	
経常利益	580	20.0 %	+10.0 %	33.1 %	
当期純利益	400	13.8 %	+7.2 %	33.1 %	

・ 2021年5月14日発表の業績予想から変更はありません

NDBCOCO

成長の戦略

医薬品開発を受託するCROとして 最適業務プロセスの提案・実施を通じ 製薬企業の各部署の課題解決に貢献する

- 「安全性情報管理業務」に特化
- 高品質と低価格を継続的に両立

強みの源泉

一般的なCRO

プロジェクト型 サービス

医薬品開発について、 ワンストップサービスで様々な業務を受託している

WDBCOCO

プロセス型 サービス

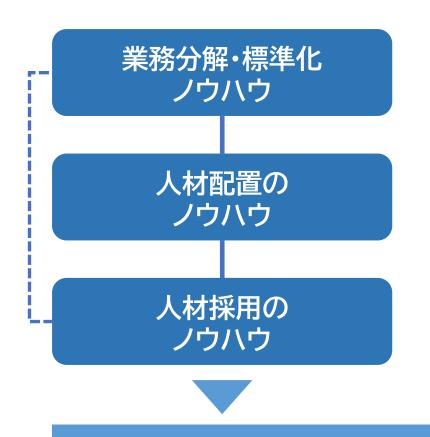
医薬品開発について、 安全性情報管理業務を主軸に業務を受託している

「安全性情報管理業務を」数多くあるCRO業務の中の1つとして位置づけている他社と違い、 当社は完全に「安全性情報管理業務」のサービスに特化



安全性情報管理業務は、長期継続的に対応が必要な法規制業務であるため、 製薬企業からは高い品質とコスト削減のニーズが高い。 当社はこの要求に対し、高品質と低価格の継続的両立に注力している

強みを実現するノウハウ



- ・業務を分解し、標準化
- ・業務の難易度に応じて分業化、自動化
- 品質と生産性の最適化を実現
- ・適材適所(適時に、機動的に、適材を、適所に配置)
- ・高い継続性
- ・独自の研修ノウハウによるスキルの向上
- ・社員教育の徹底による業務改善姿勢の浸透

高品質と低価格の継続的な両立

業務分解・標準化のノウハウ

プロジェクトの業務 業務をレベル別に分業

難易度が高い業務

難易度が普通の業務

難易度が低い業務

定型的な業務

熟練者を配属



人件費高

経験者を配属



V

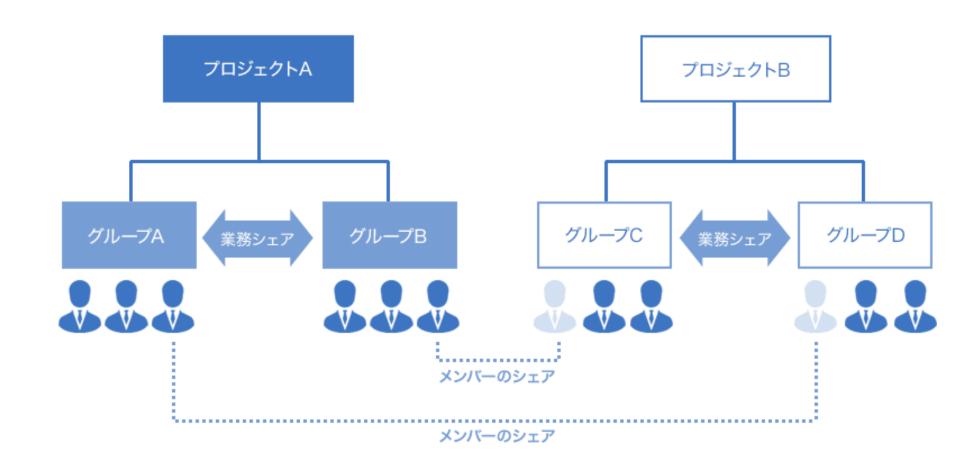
人件費低

未経験者を配属



人件費なし

人材配置のノウハウ



人材採用のノウハウ

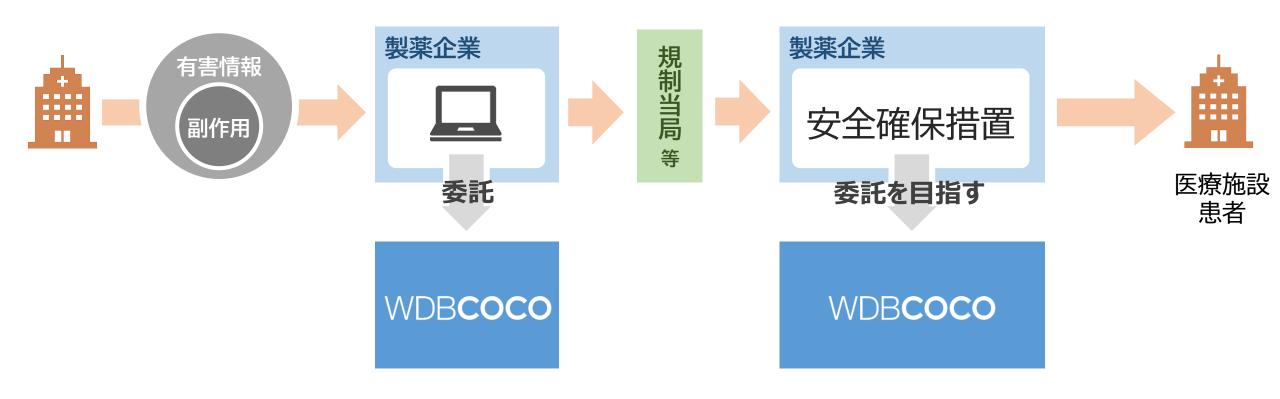


3拠点での採用活動、高精度の選考、業務の繁閑に応じた機動的な採用活動



今後の展開

・安全性情報管理サービスにおいては、 従来の受託範囲を広げ、「安全確保措置」への取り組みを強化



今後の展開

